



平成28年度整備完成を目指せ!!

小中学校の空調整備について、市長・教育長に問う 中島亨一議員

議員

地球温暖化が叫ばれて久しいが、真夏の気温が40度になるといふ昨今、体温調節が完璧ではない子どもたちにとって教室で勉強するのは大変厳しいものがある。私は12年前から小中学校の空調整備を市当局に訴えてきた。中学校については、来年度整備できることになったが、小学校については、平成30年までの5カ年計画で随時進めていくと聞いている。子どもたちの環境整備に差があつてはいけないと考え、小学校の空調に関しては28年度いっぱいでは整備を終えるよう再三お願いしてきた。今のように熱中症が頻繁に発生するような状況においては、子どもたちを取り巻く勉学の環境をいち早く整えることは大変重要なことであるので、28年度末までには小学校の空調整備を完成させていたいただきたい。

教育長

28年度単年で小学校全校を一斉に空調整備を行うには、27年度に一斉に設計を行う必要がある

る。27年度には小中学校の大規模工事が予定されており、主要な工事が夏休み等に集中することから、施設整備に必要な体制整備も大きな問題となる。子どもたちの健康面を考慮して、最善の努力をしていきたい。

市長

当初の計画を見直し、小学校についても、できるだけ一斉に28年度中にやれるような方向でいきたいと思っている。

議員

つくばみらい市では学校を2つ建て、空調も全部一遍にやっているのだから、常総市ができないということはない。補助金を獲得し、人員と体制をしっかりとつくった上で28年度完成を何とかお願いしたい。



小学校の教室 (右上 扇風機)

教育の根底には 国家観が必要だ



領土教育の取り組みについて 金子 晃久議員



日本全図 (一部抜粋) 出典: 国土地理院

の大きさを認識し、他国との位置関係の理解を深めさせることが重要である。日本全図を各教室に掲げていただきたい。

教育長

最近では日本の地域構成を大観させる狙いで、同じ縮尺で日本の領土すべてが記載されている日本全図が注目されている。積極的に活用を検討したい。

議員

中国・ロシアなどが利権を得るため、武力によって進出しているというような時だからこそ、将来を担う子どもたちに対して、いかに歴史・領土教育に力を注ぐべきか考えていかなければならない。日本全図を教室に掲げるよう強く要望する。

教育長

日本全域、日本という地域を理解する意味での日本全図の使い方を教育現場でも研究し、郷土愛、国を愛する気持ちを持つ子どもたちを育てていきたい。

議員

熊本県、岐阜県、熱海市などでも各教室に日本全図を配置している。日本を担う子どもたちに適切な教育をし、すばらしい国、日本をつくっていくことを今後も掲げていく。

議員

学習指導要領に沿って、正しく指導していくことが大切であると認識している。

教育長

領土教育の最も重要な教材となるのは日本全図である。日本